



マンホールカードの各項目について



1 都道府県名

2 市区町村名

流域下水道の場合は、処理区分ごとの名称ではなく「流域下水道」としてください。

3 デザイン管理ナンバー

※GKPにて管理

4 マンホール蓋の写真

高画質のデータが必要です。

基準はデータをA4 で印刷したときにボヤけてない程度。

ファイル形式：JPG、GIF、TIF、PSD等

5 ピクトグラム（デザインカテゴリー）

該当する項目を選んでください。

（ピクトグラム一覧）



6 ピクトグラム通し番号

※GKPにて管理

7 コレクションナンバー

※GKPにて管理

8 位置座標

4の位置座標を入力してください。



9 マンホール蓋のデザイン図

高画質のデータが必要です。

基準はデータをA4 で印刷したときにボヤけてない程度。

ファイル形式：AI、JPG、GIF、TIF、PSD等

10 設置開始年

西暦で入力してください。年度表記ではありませんのでご注意ください。

11 デザインに関する画像

高画質のデータが必要です。

基準はデータをA4 で印刷したときにボヤけてない程度。

ファイル形式：JPG、GIF、TIF、PSD等

※画像にはキャプションが必要です。

キャプション：文字数は7文字程度

画像点数分のキャプションを入力してください。

12 デザインの由来・説明

255～275文字内で入力してください。

マンホール蓋のデザインの説明を重視してください。

英数字は半角で統一してください。

13 QRコード

URLを入力してください。

14 製造管理ナンバー

※GKPにて管理

15 配布場所

カードの配布場所を18字以内で入力してください。

※ 3 6 7 14 のナンバーの詳細は次のページをご確認ください。



G K Pにて管理している各ナンバーの説明



3 デザイン管理ナンバー

13-100-A001

都道府県コード 市区町村コード デザイン種類・デザイン数量

- 都道府県コード
都道府県に付けられた全国共通のコードです。
- 市区町村コード
市区町村に付けられた全国共通のコードです。
- デザイン種類・デザイン数量
同一自治体でデザインの異なるマンホール蓋のカードを作る場合、そのデザインごとに先頭のアルファベットをA、B、C・・・という具合に割り振っています。マンホールカードは蓋の位置座標を記載する仕様となっているため、同一デザインの蓋であっても、位置座標が異なれば新たなカードとして発行する必要があります。その場合は、デザインは同じですから先頭のアルファベットは変えず、その後に続く番号を1ずつカウントアップしていきます。

6 ピクトグラム通し番号



31種類のテーマのピクトグラム(絵文字)でカテゴリー分けがされ、その下には連番が付けられています。連番は、カテゴリーに当てはまるカードのうち何番目のカードであるかを示しています。

7 コレクションナンバー

マンホールカードは、コレクションの楽しさを追求しているため、様々なテーマで連番が付けられています。

7-4-1-1

全カード連番 ブロック(地域)連番 都道府県連番 市区町村連番

- 全カード連番
全カード通しての連番です。
- ブロック(地域)連番
ベースカラーの9つのブロック内における連番です。
- 都道府県連番
都道府県内における連番です。
- 市区町村連番
市区町村内における連番です。

14 製造管理ナンバー

1604-00-001

導入年月(導入弾数) 修正回数 製造ロットナンバー

- 導入年月(導入弾数)
このカードが導入された年月を表します。
マンホールカードは4カ月に1度制作されており、例えば「1604」という番号は2016年の4月に配布が始まったという意味で、この数字は第1弾という意味にもなります。
- 修正回数
正確を期するようにつくられているマンホールカードですが、まれに位置座標などに関し、誤った情報が記載されることがあります。その場合は修正をして、この数字を増やすことで、修正の有無や回数が分かるようにしています。また増刷する際に、もっといい写真を使いたい、雰囲気を変えたいというような場合なども修正されることがあります。
- 製造ロットナンバー
マンホールカードは、1ロット2,000枚という単位で製造されています。この時のロット数の単位で、数字が上がっていきます。例えば002なら4,000枚、003なら6,000枚発行しているという意味です。
※配布時にはロットナンバーの若いカードからお配りください。

